B18 メトフルトリンを含有した常温揮散製剤の蚊に対する空間忌避効果に関する検討

(4) ベトナム・ハイフォン市の民家におけるネッタイシマカを対象とした樹脂製剤の残効性試験

○川田 均¹, Nguyen Thi Yen², Nguyen Thuy Hoa², Truong Minh Sang³, Nguyen Van Dan⁴, 高木 正洋¹

(1 長崎大学熱帯医学研究所, 2 National Institute of Hygiene & Epidemiology, Hanoi, Vietnam., 3 Hai Phong Preventive Medicine Center, Hai Phong, Vietnam., 4 Do Son Health Center, Hai Phong, Vietnam)

Field evaluation of spatial repellency with metofluthrin impregnated resin strips against mosquitoes in Hai Phong city, Vietnam

Kawada, H., Nguyen, T. Y., Nguyen T. H., Truong M. S., Nguyen V. D., Takagi, M.

前3報(第56回大会および本大会)において、演者らはメトフルトリンを含浸させた紙製および樹脂製の常温揮散製剤の、インドネシア・ロンボク島におけるネッタイエカ(*Culex quinquefasciatus*)およびハマダラカ類(*Anopheles sundaicus*, *An. balabacensis*)に対する空間忌避効果について評価し、重要なマラリア感染場所の一つと考えられるブルガ(風通しのよい簡易的な小屋; 半野外条件)において、高い空間忌避効果と長期にわたる残効性を確認したことを報告した。本報告では、ポリエチレン樹脂にメトフルトリンを練り込んだ樹脂製剤(メトフルトリン約1000mg/個処理)につき、ベトナム・ハイフォン市の民家における、ネッタイシマカ(*Aedes aegypti*)をはじめとする屋内吸血性の蚊に対する空間忌避効果と残効性を評価した結果を報告する。

試験は、2004年5月から2004年10月にかけてハイフォン市南部のド・ソンで行った。30軒の民家を処理区と無処理区とに分け、処理区には1部屋あたり1個の樹脂製剤を天井等に吊すことによって処理した(1軒あたり平均4個処理)。屋内において採集される主要な蚊であるネッタイエカとネッタイシマカの2種について、壁や家具等に休止している成虫を一定時間内に定期的に採集する方法で効果を評価した結果、蚊の種類によって若干の効果の違いは見られるものの、樹脂製剤は高い空間忌避効果を示し、有効期間は約8週以上と考えられた。

B19 インセクトベクターモデルとしてのショウジョウバエ○青沼 宏佳¹, 八木 健², 三浦 正幸¹, Schneider David³, 嘉糠 洋陸¹ (1 東大・薬・遺伝, 2 阪大・院医・時空生物, 3 スタンフォード大)

Fruit fly as a model of insect vector

Aonuma, H., Yagi, T., Miura, M., Schneider, D., Kanuka, H.

マラリアや西ナイル熱、日本脳炎やフィラリアなど節足動物を媒体宿主とした感染性疾患を研究するに際し、感染症を媒介する特殊な蚊やハエを模した疑似昆虫宿主として、我々は研究室レベルの実験動物昆虫であるショウジョウバエ(*Drosophila melanogaster*)を利用することを提案したい。このショウジョウバエを用いて、感染症の病原体増殖・生育モデルを作出することにより、ショウジョウバエ実験系が有する強力な遺伝学的手法と細胞生物学的手法を用いて、その病原体の生育に影響を及ぼす宿主因子を探索することが可能となる。今回はマラリア原虫の媒介昆虫であるハマダラカのモデルとしてのショウジョウバエの有用性について、マラリア原虫—ショウジョウバエ感染系を用いた遺伝学的スクリーニングの結果を中心に紹介する。